



設計事務所からのお知らせです。

まちづくりでわかる建築の原点。

株式会社エイプラス・デザイン 一級建築士事務所



オレンジハウス デイサービスセンター(2013年 設計担当 佐藤)

ごあいさつ

平成25年5月 株式会社エイプラス・デザイン 代表取締役 佐藤 昌樹

新しい年度がはじまり、弊社でも新入社員2人を迎え、力いっぱい踏み出そうと張り切っております。このところ、震災復興からはじまり、アベノミクス・消費税増税と、建設業界にとっては久方ぶりの好景気が続いております。弊社もその波に乗り遅れないよう、一丸となって頑張っております。

ところで、本業の設計業務以外に私の場合は、まちづくりの活動をいろいろとやっていますが、このところちょっと思うのは、若い世代(20代)が、思いのほか「まちづくり」に積極的に関わろうとしていることです。

私が学生の頃「まちづくり」なんて考えもしませんでした。それが今ではそういったサークルがいくつもあったり、実際に学生が企画運営するイベントがあったりと、とても積極的な印象を受

けます。地方都市の中心市街地が衰退している状況が全国的に広がって久しい、という時代背景ももちろんあるのですが、細々と「まちがどうのこうの」と御託を並べてきた私にとっては、とても嬉しく、また彼らがとても輝いて見えます。

そういうことを言う様になったお前が年をとったのだと言われれば、その通りですが、彼らの活動はご近所関係が希薄になり、ほとんど失われてしまった「地域のコミュニティを取り戻す」一つのきっかけになるような気がします。

仕事はそれなりに忙しいですが、こうした活動もまだまだ続けていきたいと思っています。どこかで見かけたときは、ちょっと気にかけていただけると幸いです。よろしく願いいたします。



アテンドハウス・ウエスト

建設地 茨城県水戸市 竣工 2013年1月
構造・規模 RC造4階建・延3062.44㎡ 担当 池田・宮本

水高スクエア内で手がける6番目の建物になります。

「水高スクエア」は、国立水戸病院のあった東京ドーム約1個分の広大な敷地に、医療施設や福祉施設、専門学校やレストラン等が建つ「医療福祉複合エリア」です。

「アテンドハウス・ウエスト」は、「デイサービスセンター」「サー

ビス付き高齢者向け住宅」が併設した施設で、専門スタッフが常駐し、食事サービス、巡回見守りサービス、24時間緊急時対応等、高齢の方が安心した生活を送ることができる施設です。

内部は、窓を大きく、また木目をふんだんに使用し、光溢れる上質な空間を目指しました。

フロアごとのテーマカラーの設定、医療行為が可能な個室設置、水廻りの工夫等、医療福祉施設を長年運営してきたクライアントならではの、利用者への細心の配慮が随所に実現されています。

彩り溢れる時間を過ごされることを心より願います。

医療専門学校水戸メディカルカレッジ 看護科校舎

建設地 茨城県水戸市 竣工 2013年1月
構造・規模 RC造3階建・延1623.86㎡ 担当 池田・宮本

水高スクエア内にある医療専門学校「水戸メディカルカレッジ」に、新たに創設された「看護科」用の校舎で、既存の校舎からそのまま続く3階建ての増築計画です。

こちらは看護師を養成する学校で、「小児・母性看護実習室」「老年・在宅看護実習室」「基礎・成人看護実習室」等の実習室が配置されています。

各実習室は、実践的かつ効率良く実習を受けられるように、「一般住宅」「病室」等の実務の現場の再現・プロジェクター等の音響映像設備の工夫がされています。

看護学科のテーマカラーの「緑色」をバランス良く配置し、白と緑の清潔感と若々しさを感じさせる実習空間を演出しています。

「図書室」「サロン」などのスペースには、実習室の白色と対照的な紺色や濃茶の木目等の濃い色を採用し、学生が気分転換をスムーズに図り、リラックスできる空間となるよう配慮しました。

充実した学生生活を過ごされ、社会へ羽ばたかれることを願っております。



オレンジハウス デイサービスセンター

建設地 茨城県土浦市 竣工 2013年3月
構造・規模 S造2階建・延498㎡ 担当 佐藤

2年前の冬、荒川沖にある鶴町皮膚科クリニックにお邪魔しました。広大な敷地のなかにボツンと診療所があり、周りとはとてもよく整備された庭でした。そこにはオレンジやレモンが定期的に植えられている、スペインや南仏で見られるような光景が広がっていました。オーナーは「この庭を活かして庭付きの家じゃなく、家付きの庭を作ってほしい。それから、あたかもヨーロッパの街角の様な雰囲気を作り出したい。」とおっしゃいました。

用途はデイサービス・介護施設です。用途、場の雰囲気、オーナーの

言葉が、どうにもすっきりと頭の中で整理できなくて、帰ってしばらくう〜んと唸っていました。なかなかパツとしたアイデアも出てこないもので、とりあえずヨーロッパの色々な建物の写真を見てはスケッチを繰り返し、ちょっとまとめては打合せに持っていくということをしばらく繰り返すうちに、何が求められていて何がこの場にふさわしいのか、だんだん見えてきました。

500㎡程度の規模ですが、ものすごく密度の高い打合せにより、見る方向や位置によって、端正だったり、アヴァンギャルドだったり、色々な表情を見せてくれる建築になりました。

隣の診療所と一緒に見ると、明らかに街並みを構成してとても気に入っています。

4月にオープンしてまだ日が浅いのですが、こういう環境でお年寄りがのんびりとしてくだされば素晴らしいと思っています。



自分たちらしく、居心地がいい。建築家と建てる建物で夢を叶える。



KYH

建設地 茨城県水戸市
竣工 2013年2月
構造・規模 木造2階建・延125.31㎡
担当 亀田

お施様のご夫婦とは以前より知り合いでして、実のところ旦那様とは幼稚園からのお友達でした。そんなこともあり、通常であれば打合せを重ねることで徐々にお施様との信頼関係やイメージの共有を深めていくのですが、今回はその辺が最初から関係が築けていたので打合せもスムーズに進められました。

敷地は、水戸市内にある前面に田園風景が広がる気持ちの良いところです。

お施様からご要望は「コの字プランで庭が囲われていて、外観は箱型で色は黒基調!!!」でした。お持ちになっているイメージがお若いのです。もちろん私も同い年ですが(笑)。

プランに関してはコの字を少し変形することで広がる田園風景を家の中に取り込めるようにしました。

また、外壁に関しては当初真っ黒だったのですが、一部シルバーを使い真っ黒の重い感じを少し和らげながらシックなイメージになっています。

内部にも外壁のイメージを踏襲しシックな感じとなるよう白い壁と濃い茶の床で構成されています。



(仮称)シンヤビル

建設地 茨城県水戸市
担当 友常

水戸の中心「スクランブル交差点」に面して建設中のテナントビルです。震災で元気を失いつつある水戸に、灯りをともす「行燈」をイメージして、お施主様にも細かい検査にまでご参加頂きながら、現場が着々と進行中です。仮囲いのサイズよりひとまわり小さなビルが、夏の初めに完成する予定です。



OIH

建設地 茨城県那珂郡東海村
担当 佐藤・鈴木

東海村に建設中の店舗併用住宅です。道路に面して美容室を配置し、廊下で住宅を繋ぎ、中庭を囲む構成となっております。中庭に対して大きな開口を設け、室内からの開放感と程よい距離でプライバシーの守られた空間となります。現在外装工事が始まり、建物の雰囲気が出てきました。9月竣工に向け現場進行中です。



SKH

建設地 茨城県水戸市
担当 池田

横浜市から水戸へ引っ越ししてこられる方のための住宅です。この家に引っ越ししてくるのは、人間だけではありません。大切な家族の一員であるワンちゃんやネコちゃんたちも大勢引っ越ししてきます。そんなペットたちも快適に暮らすことができるような工夫を施した住宅を目指し、ただ今施工中です。5月末には、横浜からやってきた元気なペットの姿を見ることができそうです。



IEH

建設地 茨城県那珂郡東海村
担当 佐藤・加藤

東海村に建設中の専用住宅です。内部仕上げが始まり、工事もいよいよ大詰めです。大開口から降り注ぐたくさんの日の光が、お施主様の新しい生活を明るく照らしてくれる日が待ち遠しいです。



建築家

池田 洋のArchitect's Column

先日の深夜、自宅でぼんやりとテレビを観ていました。その番組では、お笑いタレント2人がソファに座って対談をしているようでした。しばらくの間、集中して観るでもなく、ぼんやりと眺めていますが、そのうちあることに気づきました。タレントが座っているソファが「LC2」だったので。建築にある程度明るい人は、「LC2」と聞いてピンとくるかもしれません。このソファは、ある有名な建築家がデザインしたソファでした。その建築家は有名な建築物を数多く残しただけでなく、椅子やテーブルなどのデザインも残しました。80年以上前に発表されたその家具のデザインは、現代においても様々なシーンで目にすることがあります。また、明らかにそのデザインを基にして発展させたと思われる家具も私たちの住む現代に溢れています。その偉大な建築家の名前は「ル・コルビュジエ」(Le Corbusier, 1887年10月6日～1965年8月27日)。スイスで生まれ、主にフランスで

活躍した建築家です。「近代建築の三大巨匠」と称されることもあり、建築家を志す世界中の人々に影響を与えた人物です。

建物を設計する私たちも、実は家具のデザインにも携わったりします。設計している建物にしっかりと家具のデザインができたときは、なんとも言えない充実感を感じたりします。もちろん、センスのいい家具屋さんでお気に入りの家具を購入するという方法もあります。でも、せっかく世界に1件しかない建物を建てるのですから、家具も世界でひとつだけの家具でありたい、そんな思いを込めています。

弊社にも、未来の偉大な建築家を目指す若者ふたりが4月から入社しました。既製の枠にとらわれない、自由な発想でエイプラス・デザインに新鮮な空気を送り込んでもらいたい、そう願っています。「まだまだ若者には負けてられない、コルビュジエ目指して頑張りよう!!」、深夜のお笑い番組を観て、そんなことを考えていました。



新人紹介・その1 島村 一平

はじめまして。今年の4月1日からエイプラス・デザインに在籍している、島村と申します。3月末に大学院を修了したばかりの新人でございます。

生まれは北海道、大学進学で千葉、そして就職で茨城県水戸市にやってまいりました。近頃は水戸も暖かくなってきて、ようやくここで生活にも慣れてきたところです。学生時代は建築の意匠設計を専攻したものの、実務の世界では初心者なので、業務を行いながら必要な知識・技術・教養・体力を身につけていきたいと思っております。

未熟者ゆえ至らない点ばかりですが、何事にも全力で取り組み努力していきますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

次号は新人紹介・その2です。

無料相談開催中! お問い合わせは株式会社エイプラス・デザインまで!!



APLUS DESIGN Inc.
株式会社 エイプラス・デザイン
一級建築士事務所

株式会社 エイプラス・デザイン
一級建築士事務所

0120-656-556
フリーダイヤル

〒310-0021 茨城県水戸市南町1-3-23 カナザワビル3F
TEL.029-227-3361 FAX.029-302-2793
E-mail info@aplus-design.jp

<http://www.aplus-design.jp/> エイプラスデザイン 検索

